

# 令和7年度【上期】小樽市観光入込客数の概要

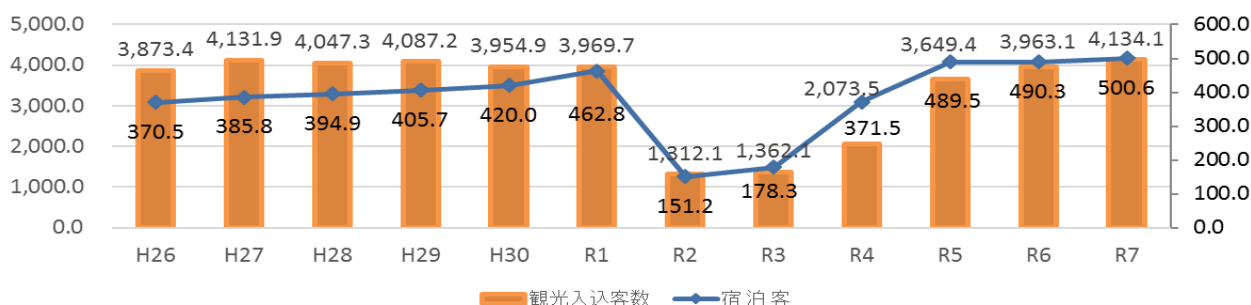
令和7年度上期の小樽市観光入込客数は、**8年ぶりに400万人を突破し、413万4,100人**となった。大阪・関西万博の開催などにより、西日本エリアへの注目が高まる中でも、市内では新たな観光施設や宿泊施設の開業が続いたほか、国内外の観光需要の高まりも追い風となって、堅調に推移した。

特に、**宿泊客数は、初の50万人超え、外国人宿泊客数も10万人を上回り、いずれも過去最多を更新**。令和6年度に続き、好調を維持する結果となった。

## トピック

- ✓ **観光入込客数は、413万4,100人**、前年度比104.3%で**8年ぶりに400万人を突破**
- ✓ 宿泊・日帰り客ともに増加し、**宿泊客は、50万600人で過去最多を記録した**。日帰り客も363万3,500人と堅調に推移。
- ✓ **外国人宿泊客数は10万7,611人となり、過去最多を更新した**。大災害予言による、いわゆる「7月5日問題」の影響で7月は一時的に減少したものの、そのほかの月はいずれも前年を上回った。地域別では東アジア圏が全体の約7割を占める一方、北米（前年同期比153.8%）やヨーロッパ（同173.6%）の伸びが際立ち、観光需要の高まりが見られた。
- ✓ 道外客は、187万7,300人（前年度比108.2%）、道内客も225万6,800人（前年度比101.3%）と増加。

観光入込客数 および 宿泊客数 の推移



## 観光をとりまく主な動向

### 1.国内の観光をとりまく主な動向

- ・国内において、令和7年（4～6月）の日本人旅行は、国内旅行消費額が前年比+5.3%、旅行者数については、前年比-0.3%とほぼ前年と同水準で推移している。（観光庁【旅行・観光消費動向調査】）
- ・訪日外国人旅行者数は、令和7年1～9月累計3,165万人となり、過去最速で3,000万人を突破し、年間過去最高を記録した昨年度を更に上回るペースで推移している。（JNTO【訪日外客数】）
- ・大阪・関西万博の開催（4/13-10/13）や沖縄の大型テーマパークの開業などにより、西日本を中心とした観光需要が活発化。
- ・「7月5日に日本で大災害が起きる」という噂がSNSを中心に拡散し、海外にも波及。訪日旅行を控える動きが広がり、香港や台湾では航空便の減便・欠航にまで波及するなど、いわゆる「7月5日問題」として話題となった。

### 2.小樽市内の観光をとりまく主な動向

- ・市内では、令和7年2月に日本遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」が認定されたほか、旧日本郵船(株)小樽支店のリニューアルオープン、小樽市鯉御殿の営業再開により、歴史・文化観光の機運が高まった。
- ・運河周辺では、新たな観光施設・宿泊施設が開業。さらに、観光船ターミナルのオープンなど、第3号ふ頭及び周辺の再開発も進展し、「みなと観光」の魅力が高まった。

## 1 観光入込客数

(100人未満四捨五入)

区分	令和6年度	令和7年度	対前年度比 (R7/R6)	対前年度増減 (R7-R6)
上期	396万3,100人	413万4,100人	104.3%	17万1,000人

## 2 道外・道内客数

(100人未満四捨五入)

区分	令和6年度	令和7年度	対前年度比 (R7/R6)	対前年度増減 (R7-R6)
道外客数	173万5,600人	187万7,300人	108.2%	14万1,700人
道内客数	222万7,500人	225万6,800人	101.3%	2万9,300人

## 3 宿泊・日帰り客数

(100人未満四捨五入)

区分	令和6年度	令和7年度	対前年度比 (R7/R6)	対前年度増減 (R7-R6)
日帰り客数	347万2,800人	363万3,500人	104.6%	16万700人
宿泊客数	49万300人	50万600人	102.1%	1万300人
宿泊客延数	58万400人	60万2,900人	103.9%	2万2,500人

## 4 修学旅行宿泊客数

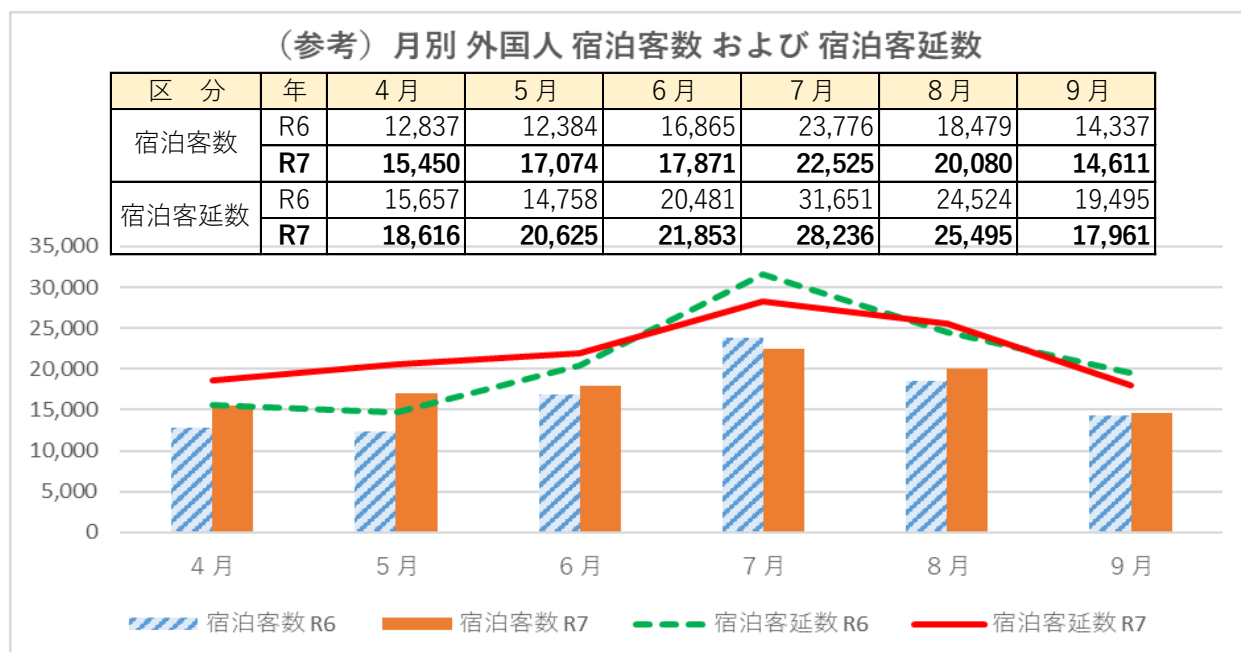
区分	令和6年度	令和7年度	対前年度比 (R7/R6)	対前年度増減 (R7-R6)
修旅宿泊客数	6,996人	8,142人	116.4%	1,146人
修旅宿泊学校数	93校	93校	100.0%	0校

## 5 海水浴客数

区分	令和6年度	令和7年度	対前年度比 (R7/R6)	対前年度増減 (R7-R6)
海水浴客数	13万6,700人	15万3,300人	112.1%	1万6,600人

## 6 外国人宿泊客数

区分	令和6年度	令和7年度	対前年度比 (R7/R6)	対前年度増減 (R7-R6)
外国人宿泊客数	9万8,678人	10万7,611人	109.1%	8,933人
外国人宿泊客延数	12万6,566人	13万2,786人	104.9%	6,220人



【参考・R7年度宿泊客数トップ7の過去推移】

区分		R7		R6		R1	
		人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比
1位	宿泊人数	26,567	102.00%	26,038	142.80%	15,769	117.70%
台湾	宿泊延数	32,800	100.00%	32,784	147.10%	20,426	129.20%
2位	宿泊人数	21,676	95.40%	22,721	89.80%	19,707	78.70%
韓国	宿泊延数	26,172	93.50%	27,991	91.80%	24,639	84.70%
3位	宿泊人数	14,074	103.40%	13,605	104.60%	14,082	94.50%
香港	宿泊延数	16,863	98.20%	17,180	103.50%	20,007	104.00%
4位	宿泊人数	12,927	115.90%	11,158	201.80%	16,270	101.00%
中国	宿泊延数	16,502	111.20%	14,834	213.90%	21,030	105.50%
5位	宿泊人数	8,960	93.40%	9,594	106.60%	6,104	118.30%
シンガポール	宿泊延数	11,074	87.20%	12,696	111.60%	8,086	131.20%
6位	宿泊人数	5,579	157.10%	3,552	95.90%	2,906	120.10%
アメリカ	宿泊延数	6,746	137.40%	4,909	97.50%	4,108	107.40%
7位	宿泊人数	4,416	103.60%	4,261	179.70%	6,152	102.60%
タイ	宿泊延数	5,158	94.90%	5,438	189.60%	7,681	110.70%

(参考) 月別観光入込客数および宿泊客数

	令和6年度		令和7年度			
	R6観光入込客数(単位:千人)	R6宿泊客数	R7観光入込客数(単位:千人)	対前年度比	R7宿泊客数	対前年度比
4月	431.5	48.7	448.8	104.0%	53.4	109.7%
5月	515.7	63.8	555.7	107.8%	68.7	107.7%
6月	680.9	81.1	721.6	106.0%	77.3	95.3%
7月	795.9	99.4	834.1	104.8%	97.9	98.5%
8月	858.5	107.9	893.7	104.1%	113.9	105.6%
9月	680.6	89.4	680.2	99.9%	89.4	100.0%
上期計	3,963.1	490.3	4,134.1	104.3%	500.6	102.1%

